


猫の保護・管理

更新日：2017年10月12日

飼い主が自主的な管理を

 飼育し、管理する動物が他人に危害を加えたり、迷惑を及ぼさないように適正に管理しなくてはなりません。

ネコは犬と違い、法に基づく登録制度がありません。

また、行動がわかりにくいため、犬よりもさらにきちんとした管理が要求されます。例えば、犬は迷子になったときに鑑札を着けていれば飼い主を捜すのは容易ですが、ネコの場合は誰が飼っているかを見分けるのが非常に困難です。

そのため、首輪やリボンなどで特徴をつけておくことが有効な手段となります。なお、ネコは屋外に出さなくても健康維持に十分な運動をとることができます。むやみな生殖行動の機会を減らし、周辺の方々にフンなどで被害を与えないよう、できるだけ屋外へ出さないですむような飼い方を工夫してみましょう。

子ネコを捨てないで

ネコを放し飼いにしていると意図せず子どもができてしまうことがあります。だからといって、生まれた子ネコをむやみに捨てて良いということにはなりません。小さくても命に違いはありません。

このようなことを防ぐためにメスに対しては不妊手術を、また、きっかけを作らないためにオスには去勢手術をそれぞれご検討ください。

捨て猫をなくすための対応策のひとつです。

注釈：町では不妊・去勢手術の費用に対して一部補助をしていますのでご利用ください。
助成対象は、町内か茅ヶ崎市内の動物病院で手術した場となりますので、ご注意下さい。

■ [猫の不妊・去勢手術補助金について](#)

野良猫へのエサやりは責任をもって

ネコが好きな人、嫌いな人、アレルギーがある人など様々な人がいますので、野良猫にエサを与えることで、ご近所トラブルに発展することがあります。
トラブルにならないよう、周辺の人たちに理解してもらえるように話し合いをしたり、トイレのしつけなどをし、迷惑にならないようにしましょう。

猫の適正管理活動を実施している町民ボランティアについて

寒川ネコの会

町内における野良猫のTNRや里親募集など保護活動を行う団体です。

(注釈)TNRとは、Trap(トラップ)捕まえて、Neuter(ニューター)不妊去勢手術をして、Return(リターン)元の場所に戻すことを言います。



[ネコの会活動 \(PDF : 1.7MB\)](#)

■ [寒川町町民ボランティア団体等登録制度](#)

その他の取り組み(どうぶつ基金の活用)

さくらねこTNRは猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会をめざす公益財団法人どうぶつ基金と寒川町の協働事業です。どうぶつ基金を活用し、寒川ネコの会協力のもと、所有者不明猫の不妊去勢手術を実施しました。

公益財団法人どうぶつ基金は、動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設とに寄与することを目的とし、各種事業を行う団体です。

■ [公益財団法人どうぶつ基金](#)